URBAN RAIL NETWORK

都市活動を支える
高密な鉄道ネットワーク

東京は都心部に二つの環状鉄道を持つなど鉄道ネットワークが充実しています。都心部の大部分へは駅から徒歩でアクセスでき、経済活動や人々の生活になくてはならないものとなっています。

都内鉄道駅（JR・私鉄・メトロ・都営地下鉄）のバリアフリーの進捗状況＊1

「エレベーター等による段差解消」の整備状況

91.5%
691/755
（整備済駅数/全駅数）



「視覚障害者誘導用ブロック」の整備状況

99.2%
749/755
（整備済駅数/全駅数）



「だれでもトイレ」の整備状況 ※路面電車の駅を除く

94.7%
677/715
（整備済駅数/全駅数）



「ホームドア・可動式ホーム柵」の整備状況

31.1%
235/755
（整備済駅数/全駅数）



都内のノンステップバスの普及状況＊1

民営バス



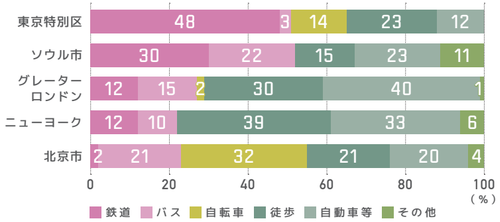
86.6% 3,550/4,099
（整備済車両数/全車両数）

都営バス



100% 1,452/1,452
（整備済車両数/全車両数）

交通手段分担率＊2

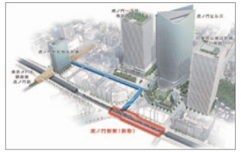


地下鉄駅に直結した再開発



地下鉄六本木一丁目駅に直結する「泉ガーデン」。駅コンコースは、地下にありながら光があふれる快適な空間を作り出しています。

虎ノ門新駅（仮称）



東京メトロ日比谷線の霞ケ関―神谷町間に建設予定の新駅。虎ノ門周辺へのアクセスが大きく向上します。

※パース図は実際の整備内容と異なる場合があります。

出典：＊1 東京都福祉保健局WEBサイト「平成26年度末 都におけるバリアフリー化等の進捗状況」 ＊2 国土交通省「平成24年度 首都圏整備に関する年次報告（首都圏白書）」（2013年6月）
提供：［虎ノ門新駅（仮称）］都市再生機構、 東京地下鉄（株）

